

SDGs 達成に向けた取組み

防災・減災等の取組みによる災害に強い地域づくりへの支援



目的・背景

当社は「お客様や地域社会の“いざ”をお守りする」というパーパス（存在意義）を起点に、時代ごとの社会課題解決を自ら探し出し、保険本業を通じてその課題解決に貢献する取組みを行っています。事故や災害から保険を通じてお守りすることだけでなく、防災・減災等を通じて、事故の未然防止や事前の安心のご提供にも取り組んでいます。

特に「未来世代」をステークホルダーとして明確に位置付け、「子どもたちへの教育・啓発」を重点領域として活動しています。各学校で行う出前授業「ぼうさい授業」に過去から継続して取り組んでおり、令和5年は全国的に見ても自転車通学の多い愛媛県の高校生向けに「自転車安全運転教室」も新たに実施しました。

また、持続可能な地域を皆でつくるをテーマに地方創生をカードゲームで考える「SDGs de 地方創生」のカードゲームの開催や、企業様向けの災害対策セミナー開催にも取り組んでいます。

具体的な取組内容

- ・通年で「ぼうさい授業」を愛媛県内の小学校7校で実施。
- ・大学・高校向けに「自転車安全教室」を12校で実施。
- ・「SDGs de 地方創生」カードゲームは松山市・今治市・宇和島市・西条市とも連携し、市の職員向けや市民向け、中高生や当社取引先企業向けに、合わせて9回実施。



- ・今治市役所と連携し、「事業継続力（BCP）作成ワークショップ」を11月に開催。

成果

「ぼうさい授業」では、「地震・津波・水災・土砂災害の発生の仕組みや対応について」や、「備えること・家族と話し合う事の大切さ」の授業を開催。「自転車安全運転教室」では「自転車の安全な乗り方と事故への備え」の講習を実施。SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」、11「住み続けられるまちづくりを」、13「気候変動に具体的な対策を」に貢献しました。

「SDGs de 地方創生」カードゲームでは、SDGsの考え方の理解、カードゲームを通じた地域活性化の方法の体感を通じ、具体的なアクションにつなげることを促進、企業でのSDGs宣言に向けたコンサル支援を実施。「事業継続力（BCP）作成ワークショップ」では中小企業における災害発生時の初動体制構築を支援。SDGs 目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」に貢献しました。

担当者の思い

当社の事業そのものが社会課題の解決であり、“事業を推進すればするほど社会課題の解決につながる、世のため人のためになる”、この思いが使命感となっています。SDGsへの取組みを体感し、またこれらの取組みを継続していくことで、社員ひとりひとりのモチベーション向上につながっています。お客様や地域社会から信頼され、真に必要とされる“Good Company”となることを引き続き目指していきます。〈愛媛支店業務グループ 課長代理 奥谷 歩美〉